

腸管癒着（ゆちゃく）

癒着とは、本来は離れているはずの臓器が、外傷や炎症によってくっついてしまうことです。



腸管癒着は開腹手術や虫垂炎、子宮内膜症などの強い炎症によって起こります。小腸や大腸が**癒着**を起こし腸閉塞になることも珍しくありません。



腸管癒着の発生頻度は？

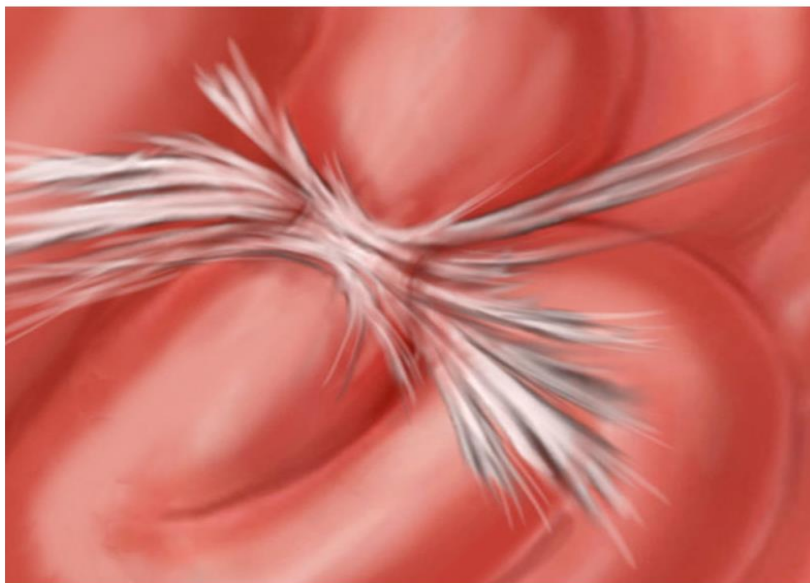
- 腹部切開手術を受けた患者の 93%
- 初回帝王切開手術の 46~65%
- 婦人科開腹手術の 55~100%



腸管癒着に伴う合併症は？

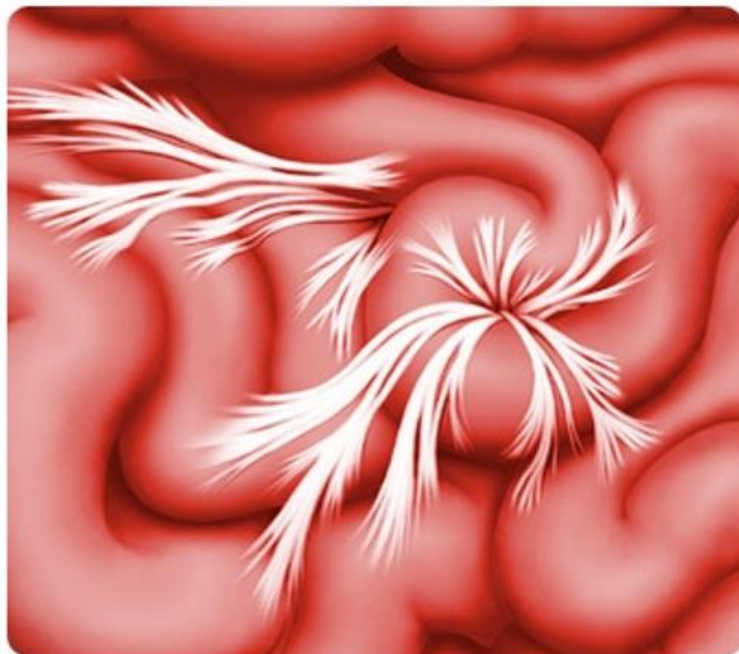
腸管癒着は腸閉塞や不妊症の原因となることがあります。

- 腸閉塞の 75%
- 不妊症の 15-20%
- 慢性骨盤痛の 48%

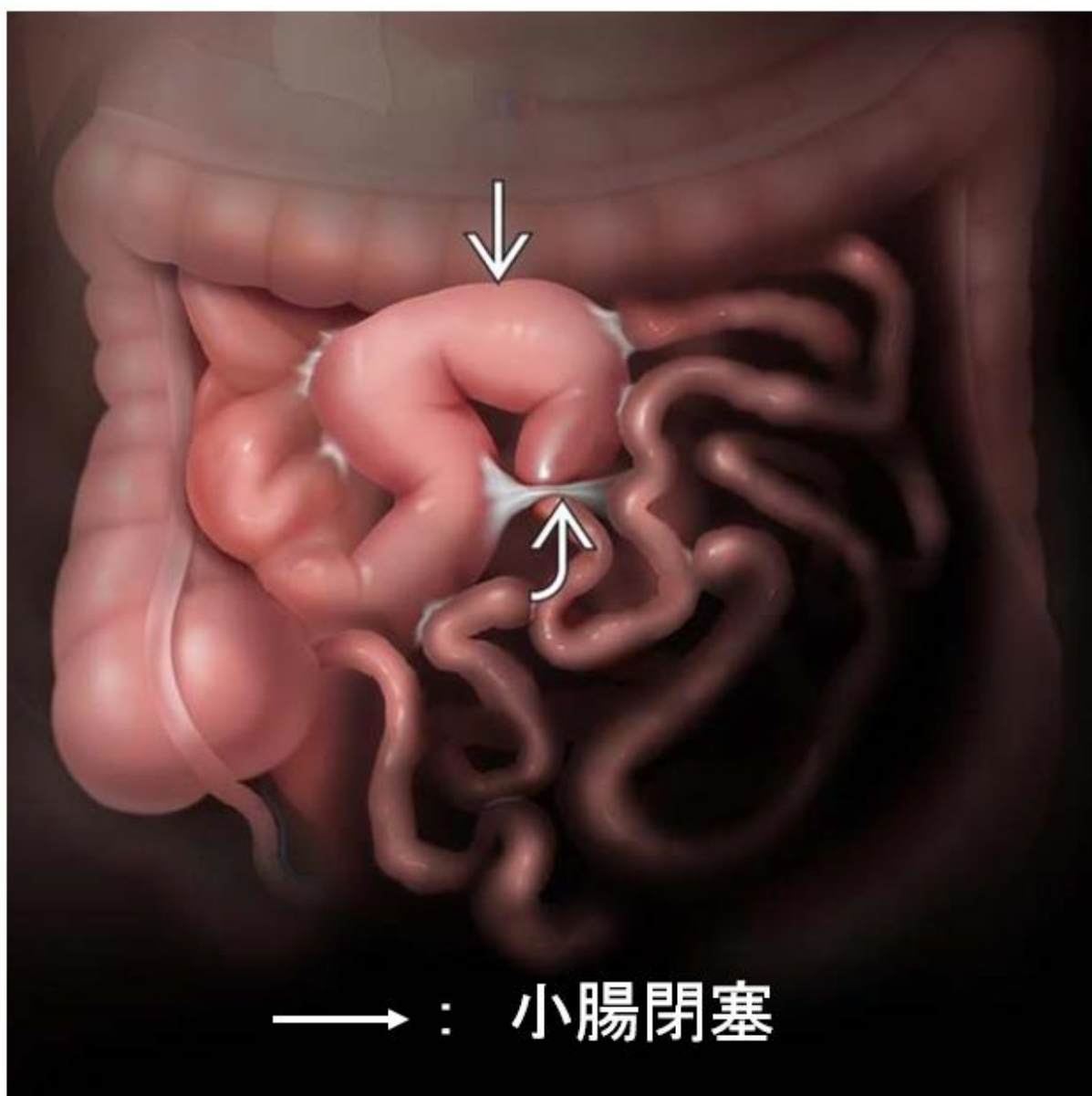


腸管癒着の症状は？

腹痛が現れますが、癒着が軽度の場合は、腹部の違和感、膨満感、食欲不振などです。また、精神的な要素により症状が強くなることもあり、癒着の程度と一致しないことがあります。



癒着により腸内容の通過障害が起こると、嘔気、嘔吐などの症状が現われます。また、腸閉塞を引き起こすと、激しい腹痛、嘔気、嘔吐が見られます。



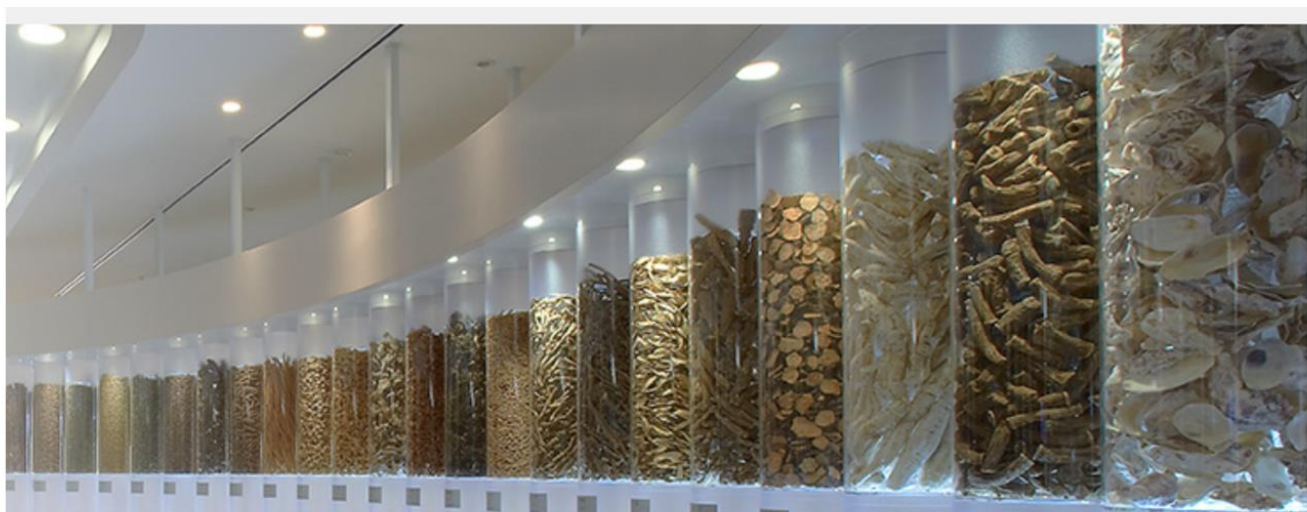
癒着の治療は？

多めの水分摂取や繊維質の摂取など食生活に留意し、適度な運動、毎日同じ時間にトイレに座るなど、排便習慣をつけることで便秘を予防します。便秘症が重度の場合は、下剤の服用により排便コントロールを図ることが大切です。



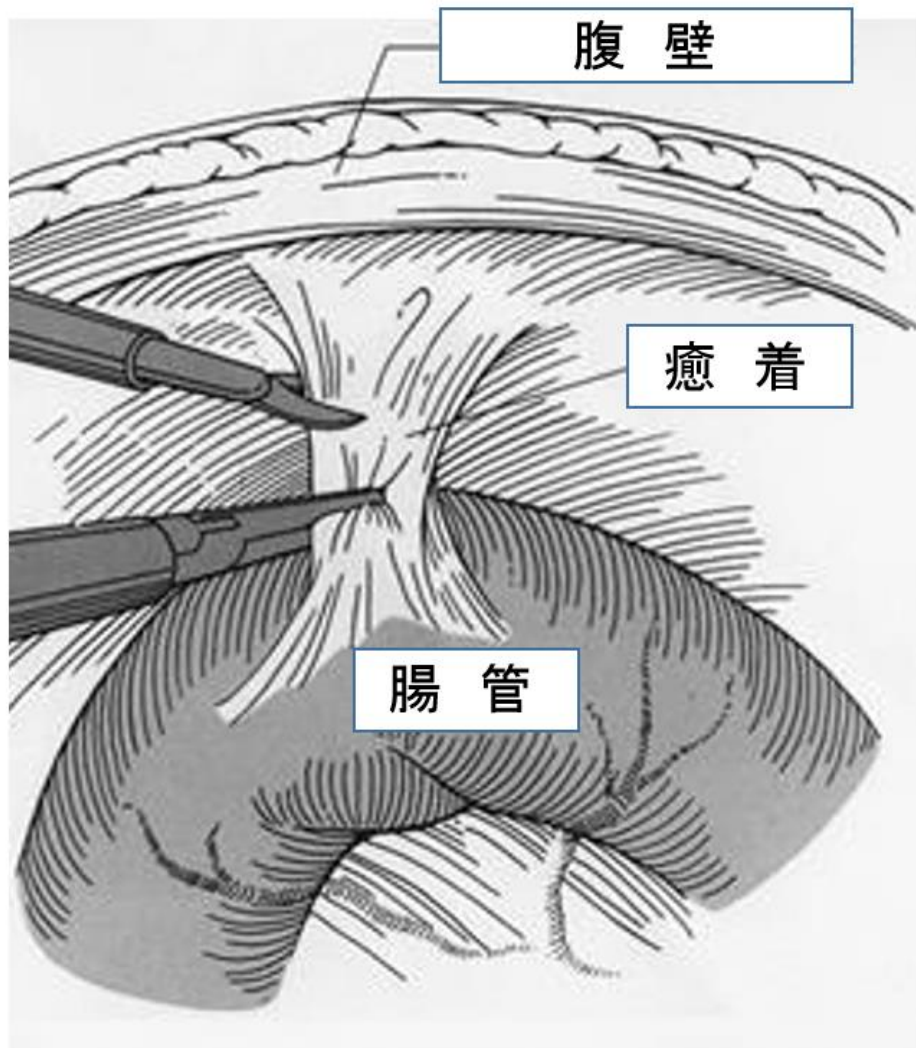
薬による腸管の運動や痛みのコントロールも大切です。

時には漢方薬も有効です。



手術は、腸閉塞をくりかえす場合などに適応となりますが、さらに癒着がひどくなる可能性があり、なるべく避けるのがよいとされています。

なお、腹腔鏡下手術では通常の開腹手術に比べてお腹の中の癒着が起きにくいことが知られています。



当クリニックでは、腸管癒着の診断・
内科的治療を積極的に行っております
ので、ぜひ一度ご相談ください。

